



共に歩んだ友人と  
人生の節目を喜び合う

おめでとうございます!

多久市市制施行70周年記念

二十歳のつどい

令和6年



1月3日(水)、多久市市制施行70周年記念と冠した「二十歳のつどい」を多久市中央公民館で開催し、平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた210人の人生の節目を祝いました。

式典では市長の式辞、来賓のみなさんの祝辞の後、東部・西深・中央校を卒業したそれぞれの代表者が「二十歳の誓い」を発表。さらに実行委員の家永咲葵さんいえながさきによるクラリネット演奏も華やかに披露されました。

恒例となった恩師からのメッセージ上映は今年も大好評。懐かしい先生が映し出されると「おおっ」と歓声が上ががり、笑顔あふれる時間となりました。

### 横尾市長の式辞

人生の大きな節目を迎えられた二十歳のみなさん、誠におめでとうございます。この晴れの日の式典を保護者や地域のみなさんの温かい見守りのなかで開催でき、大変嬉しく思っています。

二十歳のみなさんは光り輝く宝石の原石のようです。これから経験すること、出会うことなど、さまざまなこととを糧にしていけるでしょう。大いに自分自身を磨き、輝かせてください。

また、みなさんには選挙権がありません。地域や国の未来を決めていく大切な権利です。棄権せず、大切に使うほしいです。

この後はぜひご自宅で、思い出話に花を咲かせてくださいね。ご家族にこれまで感謝を述べる良い機会でもあると思います。

二十歳のみなさんが健やかに未来へと羽ばたいていくことを心から願っています。



よこ お とし ひこ  
多久市長 横尾 俊彦